

2010～2011年度 IM第8組報告

会長 西山雅康 (大阪咲洲RC)
IM実行委員会 委員長 高松伸伍 (大阪咲洲RC)

テーマ：隠れた逸材を世に出すには

ホスト：大阪咲洲RC

日時：2011年5月14日(土) 13:30～17:00

場所：ハイアットリージェンシー 大阪

参加クラブ：大阪阿倍野RC、大阪平野RC、大阪イブニングRC、大阪城南RC、大阪住之江RC、大阪住吉RC、大阪天王寺RC、大阪東南RC、大阪咲洲RC

登録者数：309名

出席者数：119名

世の中には一生懸命努力して十分な実力を備えているのに、世に広く認められない人が少なくありません。そんな隠れた逸材を探し出して世に送り出すことは文化・スポーツをはじめ、あらゆる分野において必要なことではないでしょうか。今回私たちは「隠れた逸材を世に出すには」をテーマに講演と演奏とパネルディスカッションを企画いたしました。

(講演)

朝日放送ラジオのアナウンサー道上洋三氏から「隠れた有望な人材を見つけよう」というテーマでご講演をいただきました。西武ライオンズやダイエーホークス(現ソフトバンクホークス)が長年時間をかけて、選手をスカウトするフロントとフロントが獲得した選手を使って試合に専念する現場との役割分担を明確にすることで、選手を発掘・育成し、チームの強化と観客動員数の増加に成功した話を、現在低迷している阪神タイガースと比較しながら情熱的に語られました。



(演奏)

隠れた逸材候補として2名の音楽家の演奏を聞きました。ピアニストの桑原怜子氏はリストとショパンの曲を、フルート演奏家の江戸聖一郎氏はビゼーとドップラーの曲をそれぞれ思いを込めて演奏されました。



(パネルディスカッション)

パネラー：響 敏也氏 (音楽評論家)

疋田哲夫氏 (放送作家)

道上洋三氏 (朝日放送ラジオアナウンサー)

桑原怜子氏 (ピアニスト)

江戸聖一郎氏 (フルート演奏家)

コーディネーター：上田 彰 (大阪咲洲RC会員)

上田彰氏による司会進行のもと、人材の発掘や新人の育成についての真剣で軽妙な数多くのエピソードが5人のパネラーから飛び出し、楽しく聞きごたえのあるパネルディスカッションになりました。芸術というものには命の大切さを一瞬でわからせてくれるものだから、商売として売れる売れないというより、命の尊さを伝えられる人が多く出てほしいと話された響敏也氏の言葉や、目の前のお客さんに生の演奏を通じて音楽家としてこうありたいという思いを表現し伝えることのできる人が音楽家として逸材だと思う、と話された江戸聖一郎氏の言葉が特に印象に残りました。

(閉会式)

泉博朗ガバナー補佐による講評のあと、次回ホストクラブの大阪住吉RC川上富清会長より、来たる7月に大阪阿倍野RC・大阪住之江RCと合併して大阪帝塚山RCとして発足し、次回IMでの再会に向けて鋭意準備中とのご挨拶をいただきました。